B01 サシガメ 2 種 (*Triatoma dimidiata*, *Rhodnius prolixus*) の
潜みに関する実験的検討、2

渡辺 護 (富山衛研)

Experimental studies on hiding behavior in two kissing bugs
(*Triatoma dimidiata*, *Rhodnius prolixus*), II.

Mamoru Watanabe

前々回 (49 回) の本大会において、泥板、ベニア板、ボール紙および草束を用いて、2 種サシガメの潜みの好みを報告した。その際、*T. dimidiata* (Td) は 5、20mm の隙間よりも 10mm の隙間、縦隙間よりも横隙間を好み、*R. prolixus* (Rp) は隙間の幅や縦横よりも、草束という材質を好んだ事を報告した。今回は前大会 (50 回) で報告した、2 種サシガメの産卵生態を観察した各種隙間モデルに金属隙間を加えて、隙間の縦横、材質の好みを観察した。その結果、Td は縦よりも横隙間、Rp は逆に縦隙間を好んだ。また、Td は粘土隙間を好み、Rp はトウモロコシの苞皮を好んだ。さらに、両種とも金属 (銅, 鉄, アルミ) 隙間は明瞭に嫌った。

B02 サシガメの天敵・卵寄生蜂二種の寄生能力

○金山彰宏・小曾根恵子 (横浜市衛研)

Parasitic ability of two egg parasites of assassing bug

Kanayama A. and Kosone K.

グアテマラ共和国においては、シャーガス病を媒介する代表的なサシガメとして、*Triatoma dimidiata*, *Rhodnius prolixus* の二種類が知られている。また、それぞれのサシガメには、卵寄生蜂 *Telenomus fariai* と *Ooencyrtus venatorius* の存在が知られている。

今回は、実験室内で観察した二種の卵寄生蜂の産卵・寄生能力について報告する。

サシガメの卵を入れたガラスの管瓶 (長さ: 6cm, 口径 1.0cm) 内に雌の寄生蜂 1 個体を放し、その後の産卵・寄生状況を観察した。実験は、雌寄生蜂 1 個体当たりの卵の数を最小 3 個から最大 20 個と変えて行った。

Telenomus fariai に比べ、寿命の長い *Ooencyrtus venatorius* の寄生率は、蜂あたりの卵数が多くなっても高かった。